

第五〇九特設警備工兵隊

年 月 日	略 歴
昭 一 九 一 〇 二 〇	軍令により編成下令 編成完結（台北）
二 〇 八 一 五	同日より同地附近の防衛警備等に従事 停戦
二 〇 九 六	現地復帰完結

第五一一特設警備工兵隊

年月日	略歴
昭一九一〇一	軍令により編成下令
二〇八一五	編成完結(台中) 同日より同地附近の警備に従事
二〇九三	停戦 現地復帰完結

1946

第五一二特設警備工兵隊

昭	年	月	日	略	歴
二〇〇〇	〇	〇	〇		軍令陸甲第二百二十八号に依り第五一二特設警備工兵隊編成完結(台湾)
一九九九	〇	〇	〇		台湾並に南西諸島に於ける防衛戦斗に参加
一九九八	〇	〇	〇		台湾に在りて防衛並に作戦準備
一九九七	〇	〇	〇		台湾並に南西諸島に於ける防衛戦斗に参加
一九九六	〇	〇	〇		台湾並に南西諸島に於ける防衛戦斗に参加
一九九五	〇	〇	〇		防衛並に作成準備
一九九四	〇	〇	〇		台湾並に南西諸島に於ける防衛戦斗に参加
一九九三	〇	〇	〇		防衛並に作戦準備
一九九二	〇	〇	〇		台湾並に南西諸島に於ける防衛戦斗に参加
一九九一	〇	〇	〇		防衛作戦準備
一九九〇	〇	〇	〇		台湾並に南西諸島に於ける天号航空作戦に参加
一九八九	〇	〇	〇		作戦準備
一九八八	〇	〇	〇		停戦
一九八七	〇	〇	〇		終戦
一九八六	〇	〇	〇		復員下命

	三 三 九	内地帰還のため基隆港出帆
	三 一 六	大竹上港
	三 一 七	復員完結

		年 月 日	第五一三特設警備工兵隊
昭 一九 一〇 一	軍令により編成下令 編成完結（台南）		
二〇 八 一五	同日より同地附近の警備に従事 停戦		
二〇 九 三	現地復帰完結		

		年 月 日		第五一四特設警備工兵隊	
昭 一 九 二 〇 一	軍令により編成下令 編成完結（高雄）	二〇 八 一 五	停戦	二〇 九 三	現地復帰完結
		略		歴	

第五一五特設警備工兵隊

年月日	略歴
昭一九一〇一	軍令により編成下令
二〇八一五	編成完結(花連港)
二〇九三	同日より同地附近の防衛並作戦準備等に從事 停戦 現地復員

第五一七特設警備工兵隊

年月日	略歴
昭一九一〇一	軍令により編成下令
二〇八一五	編成完結（高雄）
二〇九三	同日より同地附近の警備に従事
二〇九三	停戦
二〇九三	現地復帰

第五一八特設警備工兵隊

年月日	略歴
昭 一 九 一 〇	軍令により編成下令 編成完結（高雄） 同日より同地附近の防衛警備に従事
二〇 八 一 五	停戦
二〇 九 三	現地復帰完結

第一高砂遊撃隊		年月日	略	歴
昭二〇	一		軍令により編成下令	
二〇	八	一五	編成完結(高雄)	
二〇	九	一〇	同日より同地附近の奮備に従事 停戦	
			現地復帰(高雄)	

第二高砂遊撃隊		年月日	略歴
昭二〇	一		軍令により編成下令
二〇	八	一五	編成完結(高雄) 同日より同地附近の警備に従事
二〇	九	一〇	停戦 現地復帰(高雄)

台北地区司令部		年	月	日	略	歴
昭一九二					軍令により編成下令	
					編成完結(台北)	
					同日より同地附近の警備に従事	
二〇	七	五			昭和二十年軍令陸甲第九六号により台北地区司令部と改称	
二〇	八	一五			停戦	
二〇	九	一〇			現地復帰(台北)	

台中地区司令部		年月日	略歴
昭二〇三			軍令により編成下令 編成完結(台中)
二〇七	七五		同日より同地附近の警備に従事
二〇八	八一五		昭和二十年軍令陸甲第九六号により台中地区司令部と改称 停戦
二〇九	九一〇		現地復帰(台中)

台南地区司令部	
年月日	略歴
昭一九三	軍令により編成下令
二〇七五	編成完結(台南) 同日より同地附近の警備に従事
二〇八五	昭和二十年軍令陸甲第九六号により台南地区司令部と改称
二〇九一〇	停戦 現地復帰(台南)

花連港地区司令部		年月日
		略歴
昭一九一三	軍令により編成下令 編成完結（花連港）	
二〇七五	同日より同地附近の警備に従事 昭和二十年軍令陸甲第九六号により花連港地区司令部と改称	
二〇八一五	停戦	
二〇九一〇	現地復帰（花連港）	

		新竹地区司令部	
		年月日	略歴
昭一九三三		軍令により編成下令	
		編成完結(新竹)	
		同日より同地附近の警備に従事	
二〇七五		昭和二十年軍令陸甲第九六号により新竹地区司令部と改称	
二〇八一五		停戦	
二〇九一〇		現地復帰(新竹)	

第十遊撃隊本部

年月日	略歴
昭 二〇 一	軍令により編成下令 編成完結（台中）
二〇 八 一五	同日より同地附近の警備に従事 停戦
二〇 九 一〇	現地復帰（台中）

台東地区司令部	
年月日	略歴
昭一九二二	軍令により台東警備司令部編成下令
	編成完結(台東)
	同日より同地附近の警備に従事
二〇七五	昭和二十年軍令陸甲第九六号により台東地区司令部と改称
二〇八一五	停戦
二〇九一〇	現地復帰(台東)

		独立挺進第一大隊	
		略	歴
年	月	日	
昭二〇	三	一五	軍令陸甲第三九号に依り独立挺進第一大隊編成下令
	三	二〇	編成完結（台湾）
	八	一五	同日より同地附近の警備 停戦
	九	五	復員下令
	九	二〇	復帰完結（現地）

野戦機関砲第十一中隊		年 月 日	略 歴
昭 二〇	三 一 五	三 二 〇	軍令陸甲第三九号陸亜機密第一四二号に依り野戦機関砲第十一中隊編成下令
至自	三 二 〇	三 二 〇	編成完結（台湾）
	八 三 〇〇	八 三 〇〇	大東亜戦争勤務に従事す
	八 一 五	八 一 五	停戦
	九 五	九 五	復員下令
	九 一 〇	九 一 〇	復帰完結

1965

第五〇一特設警備輜重兵隊

年月日	略	歴
昭二〇 一 一五	軍令陸甲第三号に依り第五〇一特設警備輜重兵隊動員下令	
一 三一	動員完結(台北)	
	同日より同地附近の警備	
五 七	台作命第二七二号に依り軍司令官直轄となる	
六 一〇	第二戦備下令	
六 二五	台作命第二九三号に依り第三戦備	
八 二〇	台作命第三二六号に依り作戦任務解除	
九 二	終戦	
九 八	復帰完結	

第五〇一特設警備患者輸送隊

年月日	略歴
昭二〇一 一 一五	昭和二十年軍令陸甲第三号に依り第五〇一特設警備患者輸送隊臨時編成下令
一 三一	編成完結(台湾)
	同日第五〇熱戦輸送隊の隸下に入る
	同日より同地附近の警備ならびに患者輸送業務に従事
五 七	第十方面軍司令部の指揮下に入る
八 一五	停戦
九 三	現地復帰完結

特設警備第五〇四大隊

年月日	略歴
昭二〇 四一〇	軍令陸甲第六十三号に依り特設警備第五〇四大隊臨時編成下令
四二〇	編成完結（台湾基隆）
五二〇	爾後新莊地区防衛並に作戰準備
八一五	停戦
九三	転属者を除く外現地に於て召集解除

特設警備第五〇六大隊

年月日	略	歴
昭二〇 四一五	編成完結（台北）	軍令陸甲第六十二号により特設警備第五〇六大隊編成下令
至自 二〇 五四一〇	防衛並に作戦準備	
至自 二〇 五四二	宜蘭地区に移駐	
二〇 五五	爾後同地に於いて作戦準備	
二〇 八一五	停戦	
二〇 九二	終戦	
二〇 九三	転属者以外は現地復員	

特設警備第五三六大隊

年月日	略歴
昭二〇 七 五	昭和二十年軍令により特設警備第五三六大隊宜蘭に於いて編成完結 同日より宜蘭郡枕頭山附近の警備
八 一 五	停戦
九 二	終戦
九 七	混成第三二連隊に転属者以外は現地において復員

特設警備第五一一大隊

年月日	略歴
昭二〇三二〇	教育警備召集により学徒特設警備第八大隊編成下令
二〇四一五	軍令陸甲第六十三号により学徒設備第八大隊を特設警備第五一一大隊に変更
二〇四二〇	編成完結(台南)
二〇八一五	同日教育召集を警備召集に変更
二〇九二	停戦 転属者以外は現地復員

特設警備第五〇八大隊

年 月 日	略 歴
厚二〇三二〇	教育警備召集により学徒特設警備隊第五八隊編成下令 同日編成完結（台南）
二〇四一五	同日より台南市附近の防衛並に作衛準備に従事
二〇四二〇	台参動第六七九号により特設警備第五〇八大隊と改編下令 編成完結
二〇八一五	同日より同地附近の警備 停戦
二〇八三〇	台作命甲第三三〇号により現地復員

特設警備第五四〇大隊

年月日	略歴
昭二〇七五	軍令陸甲第九六号に依り特設警備第五四〇大隊臨時編成下令
自 二〇〇八七二五	同日編成完結（台北）
二〇〇八一五	台北地区に於ける防衛並に作戦準備
二〇〇九三	停戦 現地復帰

特設警備第五一四大隊	
年月日	略歴
昭二〇 四一四	軍令により特設警備第五一四大隊編成下令
四二〇	編成完結(台中)
八一五	同日より同地付近の整備 停戦
九二	終戦
九三	現地復帰

独立機関銃第二四大隊

年	月	日	略	歴
昭一九	七	二八	軍令陸甲第七〇号に依り独立機関銃第二四大隊編成下令	
	八	一七	編成完結(柏)	
	八	一九	屯営出發	
	九	五	門司港出帆	
	九	一七	基隆港上陸	
	九	二六	基隆港出帆	
	九	二六	花連港上陸	
			同地附近の防衛に任ず	
自	一九	〇〇	台湾防衛戦斗に参加す	
至	二〇	二二	花連港出發	
	三	三	台北州新莊郡五股坑着	
			同日同地附近の防衛	
	三	二二	五股坑出發	
	三	二三	新竹州桃園部營盤坑着	

1975

八 一 五	同日より同地附近の防衛 停戦
九 一 〇	終戦 歩兵第二四九連隊機関銃大隊に編入
二 二 三	内地帰還のため基隆港出帆
三 三	大竹港上陸
三 二	復員完結

独立速射砲第三〇中隊

年月日	略	歴
昭一九六	軍令により動員下令	
六二四	動員完結（東満総省東寧県石門子）	
八三	石門子出發	
八四	鮮満国境（図們）通過	
八七	釜山着	
八二九	釜山港出港	
一〇二	台湾基隆上陸	
一〇四	鳳山着	
	同日より同地附近の防衛に任ず	
二〇一	台湾軍第五十師団長の指揮下に入る	
一一五	台南移駐のため鳳山出發	
	同日台南着同日より同地附近の警備並に防衛に任ず	
一二五	第四十軍司令官の指揮下に入る	
一三二	第五十師団長の指揮下を脱し第十二師団長の指揮下に入る	

二二二	台南地区守備隊となり同地附近の防衛並に作戦準備に任ず
八一四	停戦
九一五	復員下令
九一〇	復員完結
二二	同日他部隊に転属者等を除く残置者は歩兵第四六連隊に転属
一一二	歩兵第四六連隊は内地帰還のため高雄港出帆
一一七	横浜港上陸
	同日復員完結

独立歩兵第六四八大隊	
年月日	略歴
昭二〇 四一五	軍令陸甲第六三号により独立歩兵第六四八大隊編成下令
四二〇	編成完結(台湾)
	同日より台中地区の防衛に従事
二〇 八一五	停戦
三三 三一	内地帰還のため基隆港出帆
三三 三六	広島県大竹上陸
三七 三七	復員完結

花蓮港陸軍病院

年月日	略	歴
昭一九五三	編成完結（花蓮港に於て）	軍令陸甲第四十七号により花蓮港陸甲病院臨時編成下令
六一〇	九三〇	花蓮港陸軍病院台軍作命丁第二十一号により花蓮郡寿庄地南に移駐
自一九〇〇	二〇八	台湾防衛戦斗に参加
一九〇〇	一一五	停戦
二〇	一一	復員下令
一一	三一八	内地帰還のため基隆港出帆
	三二三	大竹港上陸
	三二四	復員完結

花連港兵事部

年月日	略	歴
昭一六八一 一七四一	軍令により編成下令 台湾花連港において編成完結	
	<ul style="list-style-type: none"> 部員（特校七） 勳員（二） 中佐 中村三雄 郷軍（二） 庶務（二） 大尉 山本俊雄 經理（二） 医務（二） 	
	<ul style="list-style-type: none"> 部附 准士官（二） 長野国清 下士官（八？） 属官（二） 三好一徳 雇員（二〇？） 傭人（五？） 	
三二二二	台訓甲第六十七号により花連港兵津部勤務隊編成	

	二		
	四	勤務部隊長 陸軍中尉 有吉保孝	任務台湾東部地区居留民の還送業務
	二	内地帰還のため花連港出發	勤務状況居留民の保護、帰還のための準備・計画・実施等
	四	鹿兒島上陸	
	二	復員完結	
	同	初代部長 大佐 川崎 明德	
	日	二代部長 大佐 印南 英翰	
		三代部長 大佐 井上 政広	

第九師団防疫給水部

年月日	略	歴
昭一六 七 一〇	軍令により編成下令	
七 一六	編成完結（金沢）	
八 一七	神戸港出帆	
八 二〇	釜山港上陸	
八 二五	鮮満國境（図們）通過	
八 二六	牡丹江省興隆地区着（寧安県）	
九 一四	同地区の警備	
九 一五	牡丹江省興隆地区発同日牡丹江省樺林着	
一六 一六	同日より同地附近の警備並に戦用道路構築並に築城作業等に從事	
一六 一九	沖繩島派遣のため牡丹江省樺林出發	
六 二二	鮮満國境通過	
六 二三	釜山港出發	
七 一	沖繩県那覇港上陸	
七 一二		
七 一五	首里市着	

1983

一九	九二二	同日より同地附近の警備
一〇	二七	軍令陸甲第三百三十三号により編成改正下令 編成完結
二三	二七	引続き沖繩県島尻郡に在りて附近の警備
二三	二七	台湾派遣のため首里市出発
二三	二八	那覇港出帆
二三	三〇	台湾基隆上陸
二〇	一四	高雄州鳳山郡大寮庄山子頂着
		同日より同地附近の警備
二	九	移駐のため山子頂出発
二	一〇	新竹州新竹市到着
		同日より同地附近の警備
五	一	移駐のため新竹市出発
五	一	新竹郡関西街石岡子着
		同日より同地附近の警備
八	一五	停戦
二〇	九二二	大竹港上陸
九	二二	復員完結

二〇	二二二	博多港出帆
二一	二二三	基隆港入港同日同地上陸
二二	二二五	基隆発
二三	二二六	台南着
二四		同地附近警備
二五	六一〇	高雄州岡山郡田寮庄牛稠に移駐同地附近警備
二六	八一五	停戦
二七	九二二	終戦
二八	三一	工兵第十八連隊復員下令
二九	二二二	内地帰還のため高雄港出帆
三〇	三一	鹿児島港上陸
三一	同日	復員完結

輜重兵第十八連隊

年月日	略歴
昭一三〇三	大陸命により滿州移駐のため久留米出發
一一一	門司港出發
一一五	大連上陸
一一一四	関東州界通過
一一一八	東寧到着
	同日より同地警備
一六七二八	軍令陸甲第三十五号により臨時編成下令
八四	編成完結
一九三二一〇	昭和十九年度軍令陸甲第一五九号に依り輜重兵第十八連隊臨時編成下令
二三二〇	編成完結
三三八	東寧県大肚子川出發
	同日旅順着
二〇一一〇	旅順發同日関東州界通過
一一一一	鮮滿國境通過

二〇	一	一三	釜山着
	一	二三	釜山港出帆
	一	二三	門司港上陸
	一	三一	門司港出帆
	二	六	基隆港上陸
	二	八	台南着
	八	一五	同日より同地附近の防衛 停戦
	二	二五	内地帰還のため高雄港出帆
	三	二	大竹港上陸
	三	三	復員完結

第一二師團制毒隊

年月日	略	歴
昭一七二二二		軍令陸甲第五百十九号に依り第一二師團制毒隊臨時編成下令
三二二〇		編成完結（東寧県城子溝に於て）
三二二三		城子溝出發
		同日東寧県境通過
三二二六		関東州境通過同日旅順着
二〇一〇		旅順出發
一一二二		釜山着
一三〇〇		門司港出帆
二二六		台湾基隆港上陸
二二七		基隆出發
		同日台南着同地付近の防衛並に作戦準備
二一九		移動のため台南出發
二二〇		高雄州岡山郡燕巢庄湖子内栖牛湖着 同地附近の防衛並に作戦準備

二〇	八一五	停戦
九二	九一五	終戦
九二二	九一五	第一二師団制毒隊復員下令
二二五	二二九	復員完結
二二九	二二九	同日他部隊に転属者等を除く残置者は歩兵第四八連隊に転属
二二九	二二九	歩兵第四八連隊は内地帰還のため高雄港出帆
二二九	二二九	鹿兒島港上陸
二二九	二二九	復員完結

第十二師団兵器勤務隊	
年月日	略歴
昭一九二二〇	軍令陸甲第一五九号に依り第十二師団兵器勤務隊臨時編成下令
一二二〇	編成完結（牡丹江省東寧県城子溝）
一二二四	城子溝出發
一二二七	鮮滿國境安東通過
二〇一一七	釜山港出帆
二二八	台湾基隆港上陸
二二一	台南着
八一五	同日より同地附近の警備 停戦
九二二	終戦
九二二	現地復帰完結

第十二師団第一野戦病院

年月日	略歴
昭一九一二年二月二二	軍令陸甲第一五九号に依り第十二師団第一野戦病院臨時編成下令
二二二〇	編成完結（東寧県、城子溝に於て）
二二三〇	城子溝出發
二二二八	同日石門子着
二二二九	石門子出發
二〇〇一	東寧県境通過
二〇〇一	鮮満国境通過
一一一三	釜山著
一一一七	釜山港出帆
一一一八	門司港着
一一二九	門司港出帆
一一一八	基隆港着
一一二〇	基隆港出發
一一二二	台南州新豊郡関廟庄着

二〇	八 一 五	停戦
九	九 二	終戦
二	九 一 五	復員下令
二	四 二 〇	高雄港出発
四	四 二 七	佐世保上陸
四	四 二 七	復員

注 一部患者護送のため大竹及び鹿兒島に上陸、復員した者がある

二〇 高雄州岡山郡燕巢庄着

同日より同地附近の警備

第十二師団病馬廠

年月日	略歴
昭一九三二一	軍令陸甲第一五九号に依り第十二師団病馬廠編成下令
二三二〇	編成完結（牡丹江省東寧県城子港）
二三二四	城子港出發
二三二八	鮮満国境（安東）通過
二三三〇	釜山港着
二〇一七	釜山港出帆
一一一八	門司港上陸
一一二七	門司港出帆
二二八	台湾基隆港上陸
二二〇	基隆出發
二二一	台南 子頭着
二二二	子頭發
二二二	帰任着同地の警備
四五	移駐のため帰任出發

同日高雄州坑口着	八一五 停戦	同日同地附近の防衛並に作戦準備に参加	九一五 第十二師団病馬廠復員下令	九二二 現地復帰完結
----------	-----------	--------------------	---------------------	---------------

第六十六師団第一野戦病院

年月日	略歴
昭一九一〇一八	軍令陸甲第一三三号により第六十六師団第一野戦病院編成下令
一〇二三	編成完結（京都）
一一一	屯営出發
一一二五	門司港出帆
一一三〇	台湾高雄港上陸
一二七	花連港着
至自 二〇〇〇 二〇〇〇	銅文蘭に駐車
二二四	銅文蘭出發
三一一	新莊着
三一九	新莊發
三一九	新竹州新路抗着
四一	新路抗患者療養所開設勤務
七二二	新路坑發 同日新竹州塔寮坑着

		至自
	二	二〇
	三	九七
	三	二二
	三	九三
	三	二五
	三	三〇
	三	三一
	復員完結	
	大竹港上陸	
	内地帰還のため基隆港出帆	
	塔寮坑尖山外に在りて防衛並に作戦準備に従事	

第七十一師団防疫給水部

年	月	日	略	歴
昭一七	四	一六	軍令により臨時編成下令	
	五	二五	編成完結（間島省琿春）	
			同日より同地に在りて国境警備に任ず	
一九	八	二五	進駐のため琿春出發	
			同日泉境通過	
	八	二七	三江省佳木斯着	
二〇	一	一九	軍令陸甲第三十四号に依り第七十一師団臨時編成下令	
	一	二五	編成完結	
	一	二八	転進のため佳木斯出發	
	一	三〇	鮮滿国境（図們）通過	
	二	二	釜山到着	
	二	七	釜山港出帆	
	二	七	門司港上陸	
	二	二二	門司港出帆	

二一八	基隆港上陸
二二二	台湾台南州斗六到着
二〇八	同日より台南地区防衛に従事
二〇八	停戦
九二	終戦
三一	復員下令
二二二	高雄港出帆
二二八	鹿兒島港上陸
二二八	復員下令

独立歩兵第五六〇大隊		年月日	略	歴
昭二〇	一四	一三二	編成完結（台湾馬公）	軍令陸甲第3号に依り独立歩兵第五六〇大隊編成下令
	六一二	八一五	移駐のため馬公出発	
	六一三	二二二	駐屯地新竹州竹南郡後龍着	
		二一五	同日より同地附近の警備	
		二一五	停戦	
		二一五	基隆港出帆	
		二一五	鹿兒島港上陸	
		二一五	復員完結	

独立混成第百二旅団第一砲兵隊		年	月	日	略	歴
昭	二〇	二	一	七		軍令陸甲第二十九号に依り独立混成第一〇二旅団第一砲兵隊臨時編成下令
		二	二	五		編成完結（台湾）
至	二〇	八	二	五		台湾花蓮港に於て防衛並に作戦準備に参加
		八	一	五		停戦
		九	二			終戦
	二	一	一			復員下令
		一	三	〇		内地帰還のため基隆港出帆
		二	二			鹿児島港上陸
						同日復員完結